

都島区の教育・子育てに関する 施策の現状について

都島区 区政会議 教育・子育て部会

令和6年5月30日

今回の会議のテーマ

部会議論の方向性を整理するため、都島区の教育や子育てに関する施策の現状を概括的に説明します。

資 料

0	直近の部会議論について	1/2～2/2	p.2-3
1	都島区の学力等の状況と区役所等の施策	1/5～5/5	p.4-8
2	情報リテラシー向上授業(教育力向上支援事業)	1/3～3/3	p.9-11
3	キャリア教育事業	1/1	p.12
4	相談支援体制の強化	1/2～2/2	p.13-14
5	こども家庭センター	1/2～2/2	p.15-16
参考		2-1, 2-2	p.17-18

0 直近の部会議論について 1/2

令和4年度には「こどもの居場所づくり」について議論

2-1 区内のこども食堂を増やせないか

⇒ワークショップの開催

実際にこども食堂を運営する方からお話を聞き、参加者同士で意見を交換するワークショップを開催。



日時

令和5年2月11日(土) 14時から16時30分

場所

都島区役所 3階 会議室

第1部 講演会

講師

江川和宏さん(一般社団法人 京橋地域活性化機構副理事長、京橋・都島
こどもカレー食堂運営責任者、都島区区政会議 教育・子育て部会長)

横田弘美さん(一般社団法人 こどもの居場所サポートおおさか代表理事)

第2部 意見交換会(グループワーク)

【参考】大阪市社会福祉協議会
地域こども支援ネットワーク事業 より
都島区内のこども食堂 9か所

0 直近の部会議論について 2/2

令和4年度には「こどもの居場所づくり」 について議論

2-2 中学生の居場所はつくれないか

【区役所として】

- ⇒ 予算上の制約(場所・人)
- ⇒ 中学生という年齢の難しさ
(公的機関の仕組み・仕掛けに参加
してくれるか。情報を届ける方法。)

相談支援体制としては、
「4 相談支援体制の強化」参照

【関連する局事業1】

《子ども自立アシスト事業》

- ・ 子ども自立支援員が、マンツーマンで相談
対応。
- ・ 不登校等の場合には家庭訪問によるサポートも。

【関連する局事業2】

《校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム) のモデル設置》

- ・ 不登校児童生徒等の社会的自立に向けた別室登校の
ためのスペシャルサポートルームを設置。
- ・ 日常的な支援を可能にするため、教員と連携して
支援を行うための支援員を配置。
- ・ 令和6年度は、小学校12校と中学校12校で実施。

(別室登校については、学校によって独自の
取り組みを行っているところも)

1 都島区の学力等の状況と区役所等の施策 1/5

全国学力・学習状況調査等より

【小学校(6年生)】

	国語平均正答率(%)				算数平均正答率(%)		
	R1	R3	R4		R1	R3	R4
全国	63.8	64.7	65.6		66.6	70.2	63.2
大阪市	58	63	64		65	69	62
公表値 単純平均	61.3	67.2	66.4		68.1	72.8	65.6

【中学校(3年生)】

	国語平均正答率(%)				数学平均正答率(%)		
	R1	R3	R4		R1	R3	R4
全国	72.8	64.6	69.0		59.8	57.2	51.4
大阪市	70	61	66		57	55	50
公表値 単純平均	71.8	65.2	67.4		58.4	58.6	55.2

学校の対応例

【小学校】

- ・ 自主学習ノートの活用
- ・ 読書を勧奨する活動(読書貯金通帳など)
- ・ 習熟度別少人数指導の導入
- ・ 補習授業の実施(放課後・春休み)
- ・ 授業研究会や教員研修会の実施
- ・ デジタルドリルの活用
- ・ ミニホワイトボードの活用(思考の可視化)
- ・ 専科指導の導入

【中学校】

- ・ 習熟度別授業の導入
- ・ 小テストの活用
- ・ 「朝読書」「新聞にチャレンジ」
- ・ 少人数クラス編成

1 都島区の学力等の状況と区役所等の施策 2/5

中学生課外授業(みやこ塾)

令和6年度都島区中学生課外授業 「みやこ塾」4月受講生募集! 要申込 先着順



- ◆一人ひとりの習熟度に応じて学習計画を立て、テキストを選定します。
- ◆週2日4コマの個別指導+自主学習で、自立的な学習形成を養います。
- ◆英語・数学・国語の3教科が学べます。定期テスト前は理科・社会も学習できます。

日程 4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

場所	実施曜日
高倉中学校	月・水
桜宮中学校	月・水
都島中学校	火・木
淀川中学校	火・木
友洲中学校	水・金



公式ホームページ

対象 各実施校の生徒

料金 10,000円(月額・消費税込) ※習い事・塾代助成カードも利用可。

定員 各校30名

申込 株式会社イング
(学研グループ)
☎0120-958-195
(受付時間 11:00～
19:00 火～土)



申込フォーム

◆大阪市習い事・塾代助成カードとは

学習塾などで月10,000円まで利用
できるカードをお渡しします。詳しく
は公式ホームページをご覧ください。



公式ホームページ

問 大阪市習い事・塾代助成事業運営事務局
☎6452-5273(日・祝日除く12:00～20:00)

問 保健福祉課(こども教育)2階23番 ☎6882-9889 ☎6352-4584

小学生サポート事業(ほうかご学習ひろば)

- ・小学生を対象に、学習支援・悩み相談を行う居場所を区内全9地域に開設する。
- ・学習意欲の向上や学習習慣定着だけでなく、生活面における不安解消にも取り組むことで、子どもを支える環境の充実に努める。

ほうかご学習ひろば

参加者募集中! 要申込 無料

放課後に先生が勉強を教えたり、悩み相談に乗ってくれる教室を開講中です。

◆開催日・場所一覧 **時間** 15:00～17:00 **対象** 区内の小学生

小学校区域	曜日	小学校区域	曜日
桜宮	木曜日	内代	月曜日
中野	火曜日	東都島	月曜日
高倉	水曜日	大東	木曜日
淀川	火曜日	友洲	水または金曜日
都島	月曜日		

申込 株式会社キズキ ☎080-1771-3280(担当:平井) / ☎6225-8586・申込フォーム

問 保健福祉課(こども教育)2階23番 ☎6882-9889 ☎6352-4584

都島区内の小・中学校で活動する人材の 募集支援



小・中学校で活動する 人材を募集しています

市教育委員会では、講師やボランティアなどを広く募集しています。子どもたちのために、あなたの知識・技術・経験を生かしてみませんか?

区内の小・中学校においても、図書ボランティアや学習支援を行うサポーターを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



市ホームページ



区ホームページ

問 保健福祉課(こども教育)2階23番
☎6882-9889 ☎6352-4584

1 都島区の学力等の状況と区役所等の施策 3/5

全国体力・運動能力、運動習慣等調査等より

【小学校(5年生)】

	体力合計点(男子)				体力合計点(女子)		
	R1	R3	R4		R1	R3	R4
全国	53.61	52.52	52.28		55.59	54.64	54.31
大阪市	52.53	50.79	50.83		54.47	52.81	52.65
公表値 単純平均	53.80	50.38	51.62		56.96	53.34	54.43

【中学校(2年生)】

	体力合計点(男子)				体力合計点(女子)		
	R1	R3	R4		R1	R3	R4
全国	41.69	41.18	41.04		50.22	48.56	47.42
大阪市	41.04	40.71	40.80		50.13	48.06	47.00
公表値 単純平均	40.21	42.29	41.09		49.54	49.82	47.37

学校の対応例

【小学校】

- ・運動環境の充実(竹馬、一輪車、ラダー等)
- ・〇〇週間の実施
- ・記録表の整備
- ・大川公園を活用した長距離走
- ・サーキットトレーニングの導入
- ・タブレットによる動きの確認
- ・ダブルダッチへの挑戦
- ・目標達成に対する表彰
- ・地域のスポーツ活動への参加

【中学校】

- ・外部講師による授業の実施(ダンス等)
- ・保健授業等による家庭での運動習慣化
- ・基礎トレーニングの導入
- ・部活動への参加奨励

1 都島区の学力等の状況と区役所等の施策 4/5

【小学生運動能力向上支援事業 1／2】

事業の目的

外部講師の派遣により、児童の身体の発達段階と安全面に配慮しながら、運動能力向上をめざす。
あわせて教員の体育科の実践指導力向上を図る。

実施概要

1 スポーツトレーナーの派遣

- 体育科の授業にスポーツトレーナー(山村聡氏、元桜宮高校スポーツマネージャー)を派遣。
- 学校の希望に沿った種目の授業を実施。
(鉄棒、マット運動、跳び箱、短距離走など)

2 トップアスリートの派遣

- 水泳の授業にオリンピックの千葉すず氏を派遣し、水泳の実技指導等を行ってもらう。
- 1校当たり2時間。
- 令和5年度は区内9校のうち8校で実施。
(1校は「夢・授業」実施のため)



1 都島区の学力等の状況と区役所等の施策 5/5

【小学生運動能力向上支援事業 2/2】

実施の効果:スポーツトレーナー派遣

- 令和5年度のアンケートでは、7校から効果はあると思う、残り2校もやや効果はあると思うとの回答。



実施の効果:トップアスリートの派遣

先生方の声

- 子どもたちから、すごく楽に泳げたという声を聞きます。泳ぐ距離が伸びた子もいました。
- 言葉のかけ方がわかりやすく、教え方についてとても参考になると、先生同士で話しています。

子どもたちの声

- けのびしかできなかったのに1時間で面かぶりクロールが10メートル泳げるようになった。
- 教えてもらって泳げる距離が伸びた。
- 楽に泳げるようになった。
- 腕を大きく速く回せば速く泳げると思っていたけれど、体の近くをかくことで速く泳げるのが分かった。

2 情報リテラシー向上授業 (教育力向上支援事業)

1/3

事業の目的

- ・情報を適切かつ主体的、積極的に活用できるように、情報活用能力を習得させる

背景として

- ⇒情報通信ネットワークを通して収集する資料には二次的な資料が多くなると考えられるので、その信頼性に注意しなければならない。
- ⇒AIの活用のような画像生成技術の発達などによる、いわゆるフェイクニュース・フェイク画像の氾濫
- ⇒アルゴリズムに基づき提供される情報の選別・かたより

実施概要:外部講師による講演

講師:宮本聖二

(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授

・日本ファクトチェックセンター副編集長)

実施日時 : 令和5年9月1日(金) 5,6校時

実施場所等 : 桜宮中学校 2年生81名

キーワード

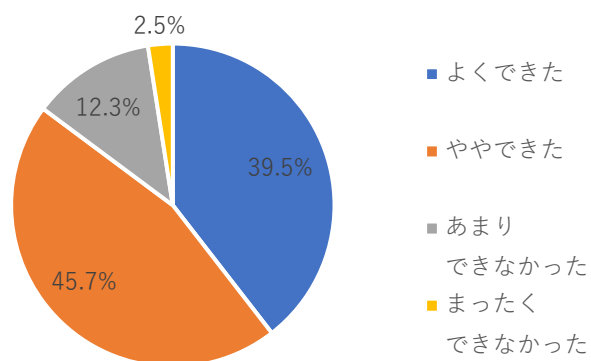
メディアリテラシー
アテンションエコノミー
フィルターバブル
デジタルシチズンシップ
エコーチェンバー
吟味思考
ファクトチェック



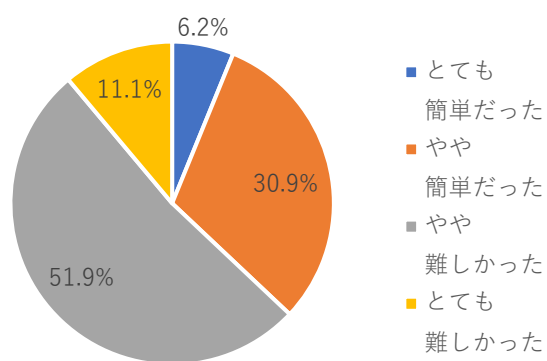
2 情報リテラシー向上授業 (教育力向上支援事業) 2/3

効果検証:生徒アンケート

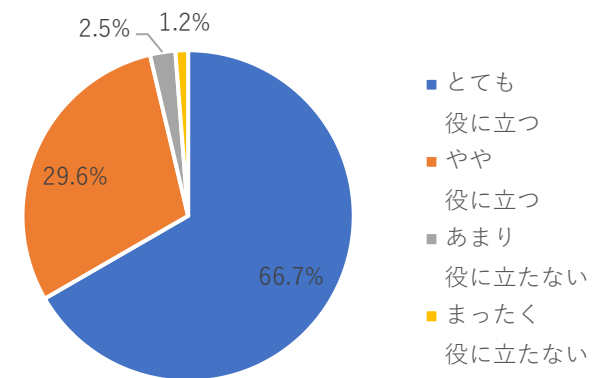
問1: 授業の内容は理解
できましたか



問2: 授業の内容の難易度
はどうでしたか



問3: 今回の授業は、自分の将来
に役立つと思いましたか



効果検証:生徒アンケートの自由記述より

- ・ 軽い気持ちで投稿したものが、だれかの命をうばう可能性があることが怖いと思った。
- ・ どんな情報もうそか本当かをしっかり見極めていく必要があると思った。

効果検証:教員アンケートの自由記述より

- ・ SNSとの付き合い方の学習は、中学生には必須事項だと思います。著作権のこと、人権侵害のこと、よくあるトラブルを中心とした学習が、必要なのではないかと思いました。

2 情報リテラシー向上授業 (教育力向上支援事業)

3/3

反省点

- ・ 時間配分：2時間の講義は少し長かった
(1時間を超えるなら、ワークショップのような生徒自身が能動的に考えるメニュー)
- ・ 講師と生徒のずれ：中学生への講義は、専門家といえど不慣れなところがある

改善の方向性

- ・ 時間配分：講義は1時間程度。
- ・ 講師：中学校の教員が直接実施する方向で

令和6年度の事業内容

- ◇宮本先生への依頼内容
 - ・ 中学生向け、1時間程度のテキスト作成
 - ・ 中学校の教員に向けた研修の実施
(夏休み期間中?)
- ◇区内中学校への依頼内容
 - ・ 研修への教員の派遣
 - ・ 2学期以降授業への取り組み
 - ・ テキスト及び授業の結果の
フィードバック



- ・ テキストの改良
- ・ 授業内容の充実

3 キャリア教育事業

事業の目的

- 小中学校がキャリア教育を実施する場合、職業講話等の講師依頼先を探す際の負担軽減
- 新型コロナウイルス流行により希薄化した、地元企業・事業所と小中学校の関係再構築の支援

実施概要

- 区の各課を通じて、協力いただける区内の企業・団体に呼びかけと募集
- 共通フォーマットの提供と集約
- 小中学校への提供

実施の効果

- 38事業所の登録
- 大阪拘置所のように新しい参加事業所の獲得
- webに掲載した情報を閲覧した企業・団体からの協力申し出



4 相談支援体制の強化 1/2

事業の目的

子育て支援を充実させることにより、保護者の子育て不安を解消するとともに、児童虐待の防止を図る。

区内の重大な児童虐待ゼロの維持をめざし、保護者の子育てに関するさまざまな悩みに対応できるよう、区役所子育て支援室に臨床心理士をはじめとする専門職を増員配置するとともに、子育て世帯を支えるネットワークとして地域と区役所子育て支援室の連携強化を図る。

ご相談お待ちしております



実施概要

(専門性の高い会計年度任用職員による対応)

・臨床心理士(2名)

発達障がいのある児童生徒や不登校の児童・生徒及び家族、心理的なケアを必要とするケースへの支援を行う。

・区スクールソーシャルワーカー(SSW:1名)

幼稚園や私立小中学校在籍者及び高等学校へ進学した者を対象に、社会資源や関係機関のネットワークを活用して問題解決を図る。

・精神保健福祉士(PSW:1名)

精神保健福祉士または社会福祉士等の有資格者が、保護者に対する精神面でのケア、子どもの発達障がいへの対応支援を行う。

4 相談支援体制の強化 2/2

たくさんの方に
ご相談いただいております



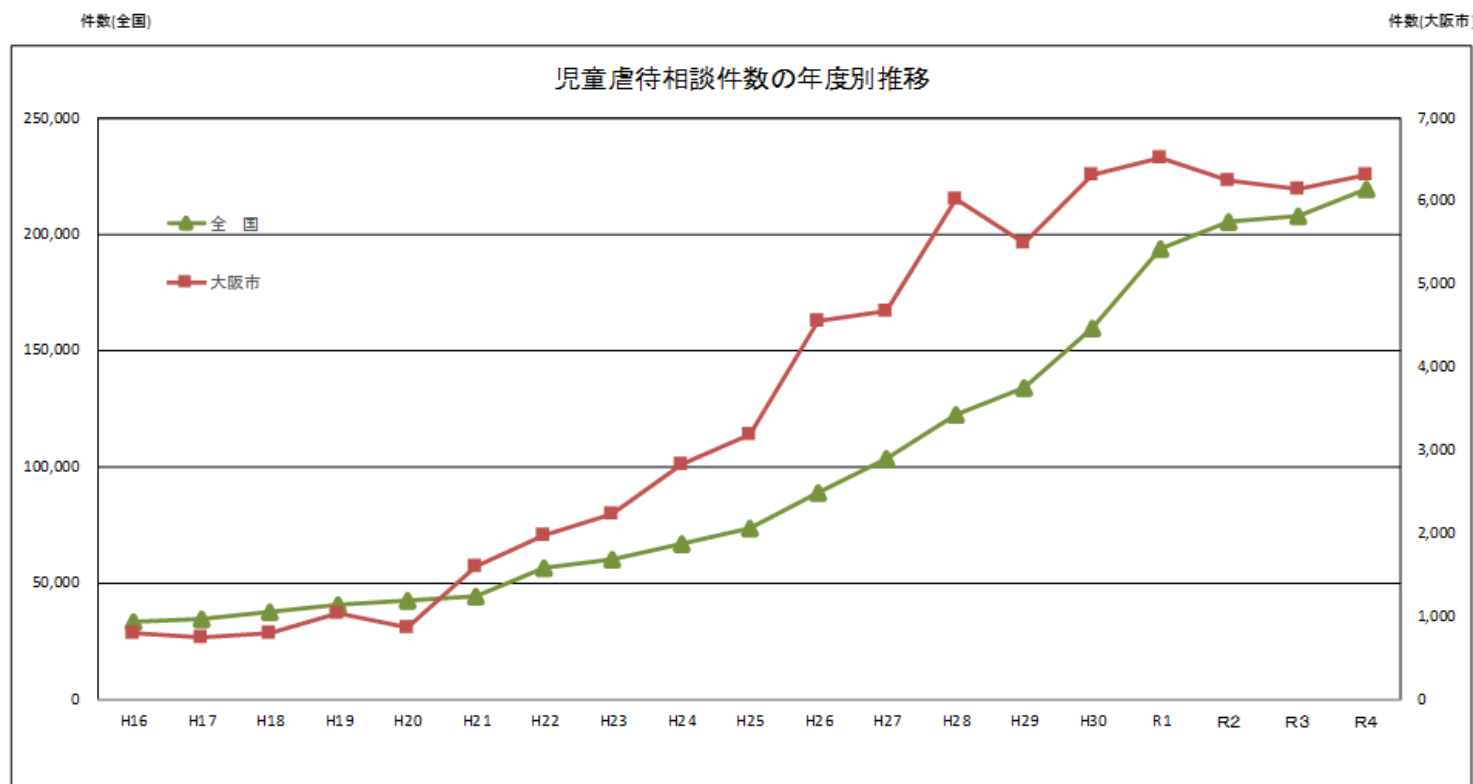
効果（相談実績）

事業名	専門職	R1（H31）		R2		R3		R4	
		ケース数	対応件数	ケース数	対応件数	ケース数	対応件数	ケース数	対応件数
子育て支援事業	臨床心理士 2名	117 (R2へ継続 83)	475	184 (R3へ継続 136)	1,036	241 (R4へ継続 159)	1,203	212 (R5へ継続 170)	1,201
SSWによる 子ども相談事業	社会福祉士	56	—	52	—	29	469	32	636
精神等障がい者への 子育て支援	精神保健福祉士	—		40	1,398	40	2,105	32	2,617

5 こども家庭センター 1/2

令和6年4月以降、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携・協働して、切れ目のない一体的な相談支援を行うことを目的とし、各自治体に設置。

本市では、各区保健福祉センターの「地域保健活動担当」と「子育て支援室」が、「こども家庭センター」の相談窓口となり運営を担います。



(注)全国数値は、厚生労働省が集計した全国の児童相談所の「虐待相談対応件数」を表している。

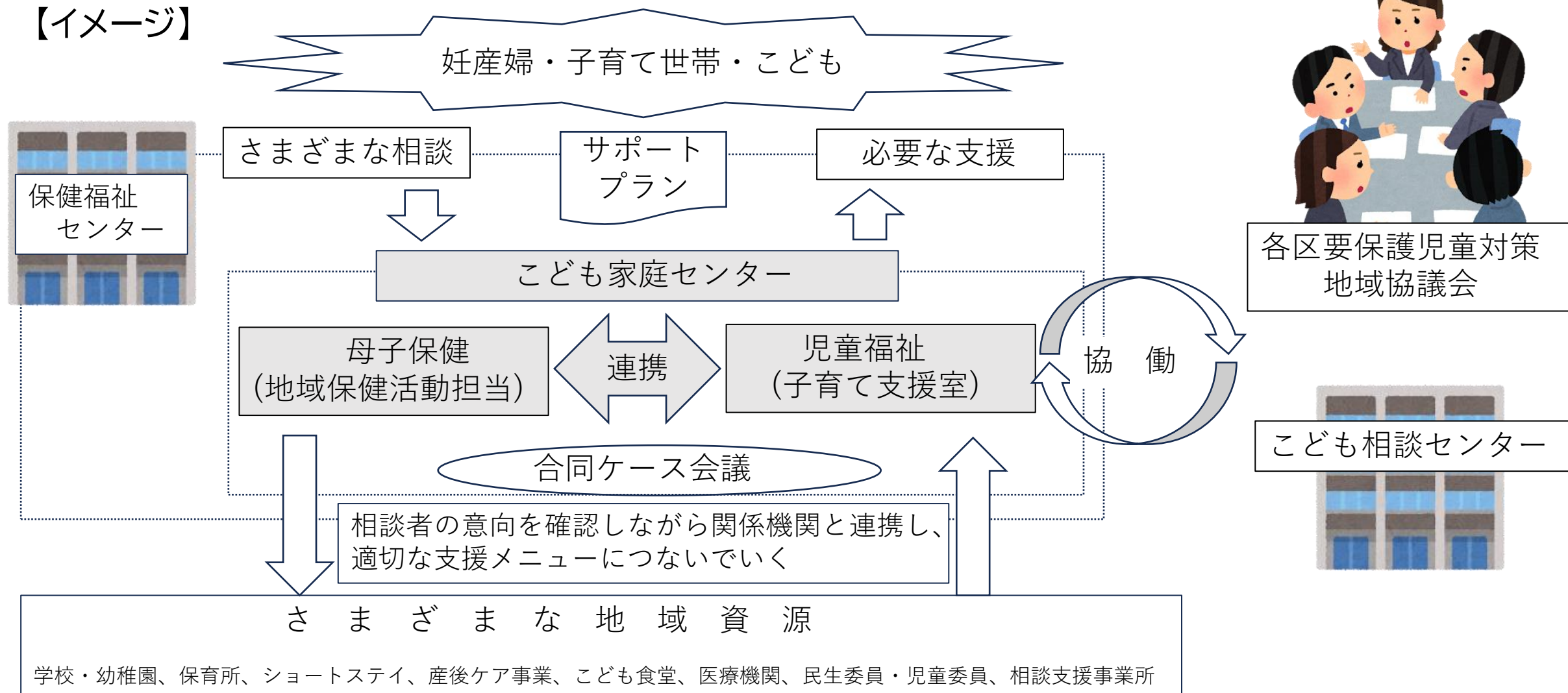
※相談対応件数とは、当該年度中に児童相談所が相談を受け、援助方針会議等の結果により指導や措置等を行った件数。

※平成22年度の全国件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除く。

※令和4年度は全国・大阪市ともに速報値

5 こども家庭センター 2/2

【イメージ】



教育に関する主な予算（区担当教育次長執行枠）

参考 2 - 1

事業名称	令和5年度				令和6年度			
	小	中	事業概要	予算額 (千円)	小	中	事業概要	予算額 (千円)
小学生運動能力 向上支援事業	●		・スポーツトレーナーによる各小学校体育科授業での運動指導 ・トップアスリート（千葉すず）による各小学校体育科授業での水泳指導	1,238	●		・令和5年度より変更なし	1,185
都島区教育力 向上支援事業	●	●	・各小中学校が行う学力・体力向上の取組を支援 各校14万円、友渕小・中 各30万円を上限に物品等の配備	2,280	●	●	・各小中学校が行う学力・体力向上の取組を支援 各小@15万円・友小@30万円、各中@12万円・ 友中@20万円を上限に、 <u>物品配備又は講師派遣を選択（希望調査を実施）</u>	2,233
	●	●	・教育力向上に関するワークショップ等の開催	67			—	—
			・情報リテラシー教育 試行実施（桜宮中）	—		●	・各中学校における情報リテラシー教育の推進	186
都島区中学生 課外授業		●	・学校施設を活用し、放課後に民間事業者による課外授業を実施	292		●	・令和5年度より変更なし	273

子育てに関する主な予算

歳 出 額(単位：千円)				
事業名	担当課	5年度 当初①	6年度 算定②	増減 (② - ①)
重大な児童虐待ゼロに向けた 地域子育てアシスト事業	保健福祉課	2,787	2,896	109
要支援妊婦への訪問等支援	保健福祉課	3,071	3,595	524
精神等障がい者への子育て支援	保健福祉課	3,368	3,919	551
助産師に学ぶベビーケア力アップ事業 ～重大な児童虐待ゼロに向けて～	保健福祉課	828	827	△1
乳幼児の健やかな成長支援・健康づくり啓発事業	保健福祉課	4,571	5,031	460
子育て支援事業	保健福祉課	8,455	9,293	838
SSW（スクールソーシャルワーカー）による 子ども相談事業	保健福祉課	3,487	4,159	672
都島区小学生サポート事業	保健福祉課	7,376	7,673	297